

食道癌及び胃癌の腫瘍先進部における病理学的特徴の臨床的意義 に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月～2017年12月に当院で食道がんまたは胃がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当講座では、大腸癌の腫瘍先進部における病理学的な形態的特徴を解析し、腫瘍の悪性度や予後との関連を研究してきました。しかしながら、胃・食道癌においては、これらの臨床的意義に関しては不明な点が多く、分子生物学的な解析が必要であると考えます。

そこで本検討では、胃・食道癌の腫瘍先進部における病理学的な形態的特徴を解析し、それらの臨床病理学的特徴や腫瘍悪性度、ならびに予後との関連を明らかにすることを目的としました。

2009年1月から2017年12月の間に当院において胃癌、食道癌に対して切除術が施行された方を対象とし、手術で摘出した検体を用いてヘマトキシリン・エオジン染色ないし免疫組織化学染色により腫瘍先進部の病理学的に検討を行い、それらの臨床病理学的特徴及び全生存率、疾患特異的生存率などの長期予後との関連を検討いたします。研究期間は学校長承認後から2022年12月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

試料：手術で摘出され病理診断に用いられた後、病院に保管されている腫瘍の組織と病理組織切片 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、

下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 助教 矢口義久（研究責任者）

住所：埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1216